

工業団地整備事業特別会計

令和元年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、令和元年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策の成果を次のとおり報告する。

令和2年8月27日

小郡市長 加地良光

令和元年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策を報告するにあたり、その概要を説明いたします。

本市は、これまでに干潟地区に2箇所、上岩田地区1箇所、計3箇所に工業団地30haを造成、分譲を行い、平成29年度に全区画完売しております。

本市の立地環境として、東部地域においては、主要地方道久留米・筑紫野線沿線に大分自動車道筑後小郡インターチェンジを有し、また、西部地域においては、高速道路のクロスポイントである鳥栖ジャンクションに近接しており、広域交通利便性に優れた地域として、高い評価が期待できる立地条件が整っています。

企業誘致については、自主財源の確保、地元雇用の促進などの地域活性化に大きく貢献し、本市においても第5次総合振興計画後期基本計画等で企業誘致の促進を目標に掲げております。

このような中で、新たな立地環境の条件整備の検討や、幅広い企業誘致に向けた取り組みを進めているところです。

令和元年度の歳入歳出決算額については、下記のとおりです。

歳入決算額	46,455千円
歳出決算額	0千円
歳入歳出差引額	46,455千円
翌年度に繰越すべき財源	0千円
実質収支額	46,455千円

歳入総額は46,455千円で、繰越金となっております。
歳出総額は0円となっております。

歳入歳出決算の状況

(歳入)

(歳出)

(単位：千円、%)

科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
繰越金	46,455	100.00	事業費	0	
歳入合計	46,455	100.00	歳出合計	0	